



(熊本)

上高橋高田遺跡は熊本市上高橋町から池上町にかけての低地に広がる縄文時代後期から鎌倉時代の複合遺跡で、今回の調査は第三次調査にあたる。これまで第一次調査で呪符木簡が一点出土している（本誌第一三号）。今回の調査においても木製品は多量に出土し、そのうちの一点に文字が認められた。縄文時代から鎌倉時代の遺物が混在している流路堆積からの出土で、

熊本・上高橋高田遺跡

かみたかはしこうだ

共伴遺物からの時期特定はできない。

8 木簡の釈文・内容

(1) □般若波羅蜜多經之御下□□

(183)×17×3.5 059

下端を尖らせている。流路堆積土からの出土であるので、祭祀場から流れてきたと考えられる。

9 関係文献

熊本市教育委員会『熊本市埋蔵文化財調査年報』二二（一九九九年）

（網田龍生）

